

今後の被災地に対する 後方支援は



照井 文雄 議員
(清風会)



連日被災地へ向かうボランティアの集合風景

問

東日本大震災の
発災から3カ月が
経とうとしているが、仮
設住宅の建設も始まり、
復興・復旧の兆しが見え
てきたが、今後どのよう
な後方支援をしていくの
か。

答

被災者の生活再
建と企業の復興支
援を目的とした、「縁」
が つなぐ後方支援プロ
ジェクトを策定した。内
容は ①「医(医療)」
助産院ねっと・ゆりかご
事業、*ICT健康増

進事業 ②「職(就労支
援)」被災地の雇用創出
支援 ③「住(仮設住宅
の整備)」木造集成パネ
ルを使った仮設住宅40戸
遠野市穀町に建設し、復
興支援する。

そのほか、ボランティ
アコーディネーターの育
成や、遠野市に拠点を移
す企業に対し、賃借料の
支援や、復興支援イベン
トなど、文化による復興
支援をしていく。

問

大震災により遠
野市後期5カ年計
画を軌道修正せざるを得
ないと思うが、以下の3
点について今後の取り組
みを伺う。

- ① 農林業関係について
- ② 誘致企業の雇用問題に
ついて
- ③ 観光について

答

全国的に自粛
ムードにより消費
の動きが鈍いが、県が5
月に行った放射性物質の
調査では問題はなかつ
た。タフ・ビジョンは見
直しをするのではなく、
地道に着実に推進してい
く。被災を受けた企業に

は、震災後早い時点から、
空き工場や事務所を求め
る企業があった。後方支
援プロジェクトのなかに
「産業の絆ネットワーク」
を提案し、新規に用地の
取得を検討している企業
や、一時的な事務所、工
場などの支援の相談にも
応じている。市外、県外
からの誘客については東
京の中野ブロードウェイ
において、里まち連携事
業の企画や、平成24年の
J R デステイネーション
キャンペーンの参加など
取り組み中である。市内
の観光イベントは、復興
支援をキーワードに被災
地の郷土芸能を招待し、
東北馬力大会をはじめ秋
の産業まつり等を開催す
る予定である。

* ICTとは…
Information and Communication(s) Technologies 情報通信技術の略称。